

～訪問看護で支える子ども達の発達支援～

褒める力が未来を育てる

訪問看護ステーションアイル浜西

01

はじめに

子どもの発達支援において大切な視点

- 診断名より、「その子自身」に目を向ける
- 小さな「できた！」を見つけ、広げていく
- そのために大切なのが**褒めること**

02

なぜ褒めることが大切なのか？

褒めることの心理的効果

自尊心が育つ

安心・信頼の
土台を作る

「やってみよう」
という力が高まる

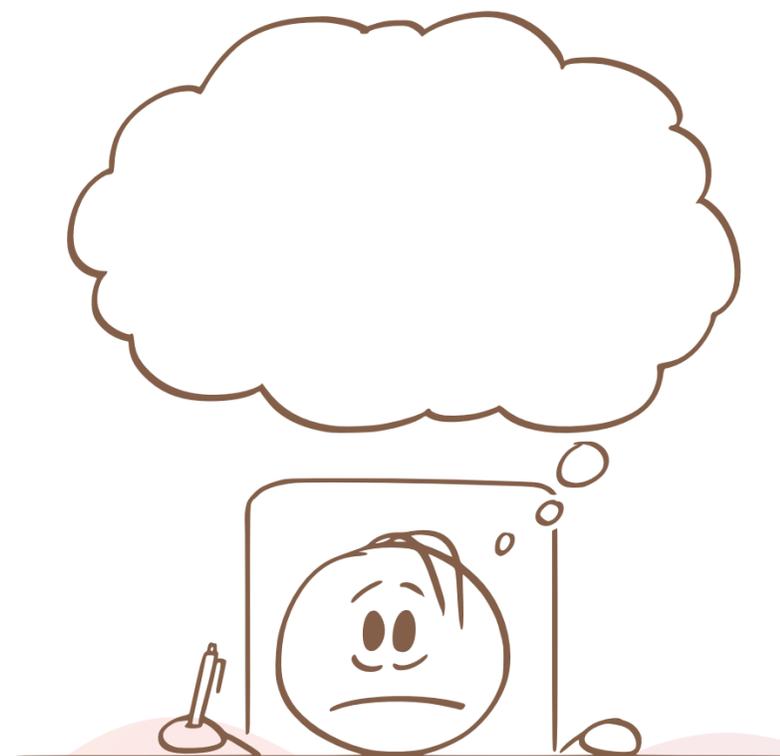
脳の発達にも好影響
(ドーパミン分泌)

03

褒めるって難しい・・・

褒めようと思っているけど、怒ることばかり・・・

頑張って褒めているけど、
言うことを聞いてくれない・・・



何を褒めたらいいのかわからない

04

褒める＝評価ではない

褒めるための準備が大事！

Step 1

- 苦手な
ポイントは
どこにある？

Step 2

- どこを
手伝えば
上手くいく？

Step 3

- 成功しやすい
関わり方を
一緒に探そう

「評価」ではなく「共感と発見」
「すごいね」より「やってみただね」

05 褒めるポイントは、「欲張らない」

- ・今日はどこを**頑張**ってほしい？
 - ・目標を**一つに絞**って注目しよう
- 例：「待てる」だけを今日は見る

- ・同時にできた、できなかった時は？
- 例：座っていたけど大きな声が出た
- ★注目するのは「できてほしい行動」
- できたことに目を向け、
他には目を瞑る勇気も大切**

- ・はじめはたくさん褒める
 - ・慣れてきたら**少しずつ減**らしていく
- ご褒美でなく「言葉」で十分
- 自身が定着し、自然に行動できるように

06

褒め方を知ろう

★即座に褒める

→行動のすぐ後に伝えると効果的

★やろうとする姿をみたら褒める

→やろうとしたことが次の一歩に

★その子が嬉しい“褒められ方”を見極める

→表情・声・ジェスチャーなど、反応をみよう

訪問看護では、日々の様子を観察しながら個別に調整を行えます。

07

訪問看護だからこそできること

生活の中の“できた”を
一緒に見つける

家庭の中という
自然な環境での
観察と支援

保護者の声を
直接聞きながら
寄り添える

親子セットで支援し、“親も褒める”という関わりが可能

08

保護者支援も“褒める”視点で

- 子どもへの関わりを一緒に振り返る
→小さな変化も毎回の記録、フィードバックに反映
- お母さんにも「できた」がある
→お母さんの努力を肯定するのも私たちの看護

訪問看護では、お母さんの頑張りにも目を向け、言葉にして伝えていきます。

終わりに

- 「褒めること」は子供達の発達を支える力
- 訪問看護では、家庭の中で子どもも保護者も支援できる
- 小さな“できた”を一緒に見つけ伸ばす

訪問看護ステーションアイル浜西は、「褒める専門職」としてそばにいます。

Thank You!